

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

上場取引所 東 大

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐子 弘和

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	17,922	144.3	38	△82.4	131	△10.6	65	—
21年3月期第1四半期	7,336	—	219	—	146	—	△9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	6.55	—
21年3月期第1四半期	△0.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	54,977	20,690	28.1	1,546.68
21年3月期	52,501	20,520	29.6	1,553.92

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 15,444百万円 21年3月期 15,517百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	34,100	40.0	670	195.8	820	269.8	400	—	40.05
通期	70,500	23.3	1,700	—	1,820	—	1,050	—	105.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規一社(社名)、除外一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 11,025,032株 21年3月期 11,025,032株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,039,362株 21年3月期 1,038,996株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 9,985,844株 21年3月期第1四半期 10,092,596株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要素により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、昨秋以降の金融資本市場の混乱の影響を受け、国内の景況感は低迷いたしております。生産、輸出産業の一部において持ち直しの動きがみられるものの、依然として企業収益は厳しい状況が続いており、改善の兆しが見えない雇用環境、個人所得の減少などから、国内における消費活動は全体的に節約志向の様相を呈しております。

このような環境のもと当社グループにおきましては、持ち帰り弁当事業分野では連結子会社である㈱ほっかほっか亭総本部において、フランチャイズ本部として販売促進活動等の事業投資を加速させ、さらなる認知度の向上目的のもと追加での広告宣伝を行いました。また、店舗委託部門では選択と集中・原点回帰を基本方針に店舗運営事業を核とした事業展開を推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結売上高179億22百万円（対前年同期比144.3%増）、営業利益38百万円（対前年同期比82.4%減）、経常利益1億31百万円（対前年同期比10.6%減）、四半期純利益65百万円（前年同期は四半期純損失9百万円）となりました。

前第1四半期連結会計期間末日よりTRNコーポレーション㈱及び同社子会社を連結の範囲に含めたため、前第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。従って、下記の事業の種類別セグメントの業績における、「店舗運営事業」・「店舗不動産事業」・「店舗コンサルティング事業」・「プライベート・エクイティ事業」・「その他事業」については、前第1四半期連結会計期間との比較は行っておりません。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

①持ち帰り弁当事業

消費者ニーズが価格帯、サービス面を含め多種多様化しております。当社では安全、安心な商品を第一に考え、また当社グループとして全国レベルでの拠点、店舗網の構築と拡充を図りつつ、その消費者ニーズに応えるため価格帯の充実や期間限定のお値打ち商品、季節感あふれる商品の販売を展開しております。

持ち帰り弁当事業の外部顧客に対する売上高は81億61百万円（対前年同期比18.4%増）、営業利益は1億63百万円となりました。

なお、前第1四半期連結会計期間においては、事業の種類別セグメント情報の記載を省略していることから、営業利益については前年同期における比較分析は行っておりません。

②店舗運営事業

時代にマッチした業態での出店が進み、安定した顧客基盤を有しております。業務委託型店舗につきましては、今後も安定した増加が見込まれ、当社グループにおける主要事業の一つとして売上・利益に貢献する見込みであります。

店舗運営事業の外部顧客に対する売上高は72億37百万円、営業利益は23百万円となりました。

③プライベート・エクイティ事業と店舗不動産事業

プライベート・エクイティ事業におきましては、サブプライムローン問題等により経済環境が悪化する中で保有株式の売却を行いました。当初期待しておりました株式売却益が実現できませんでした。一方、店舗不動産事業におきましては、不動産市況が軟弱となる中で、賃料収入を確保するべく入居率を高めることにより、安定的な収入を確保することができました。

プライベート・エクイティ事業の外部顧客に対する売上高は24百万円、営業利益は5百万円、また店舗不動産事業の外部顧客に対する売上高は1億6百万円、営業利益は64百万円となりました。

④店舗コンサルティング事業

店舗コンサルティング事業におきましては、一部店舗の売却による収入を確保することができました。また寿司チェーン店につきましては、事業改革が進み順調に売上が伸長しております。

店舗コンサルティング事業の外部顧客に対する売上高は17億40百万円、営業利益は53百万円となりました。

⑤その他の事業

フレッシュベーカー事業におきましては、既存商品のリニューアルを行い、品質・商品価値の向上に努めると共に、新商品として、自家製のとろけるカスタードクリームと富良野メロンクリームを合わせた「とろけるクリームパン（富良野メロン）」を新規発売し好評をいただきました。

その他の事業の外部顧客に対する売上高は6億52百万円、営業損失は6百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計期間末に比べ24億75百万円増加し549億77百万円となりました。主として連結範囲の変更に伴うものを含め、資産の部は「現金及び預金」の増加をはじめとする流動資産18億

66百万円の増加及び「建物及び構築物」「土地」「敷金及び保証金」等の増加による固定資産の増加6億8百万円によるものです。負債の部は、主に「短期借入金」「社債」等の増加により、23億5百万円増加いたしました。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末と比べ1億70百万円増加し206億90百万円となりました。1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ、7.24円減少し1,546.68円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の29.6%から1.5ポイント低下し28.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高74億97百万円と比べ10億25百万円増加し、85億23百万円（前年同期比2.7%減）となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は3億88百万円（前年同期は2億11百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費の増加による資金増5億42百万円があったものの、売上債権の増加による資金減4億59百万円、たな卸資産の増加による資金減1億78百万円及び仕入債務の減少による資金減2億50百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は6億42百万円（前年同期は38億28百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の売却収入による資金増1億84百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得収入による資金増1億33百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出の増加による資金減7億95百万円及び保証金の純減少による資金減1億41百万円があったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は19億65百万円（前年同期は35億27百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済支出による資金減11億79百万円があったものの、長期借入れの収入による資金増15億60百万円及び短期借入金の純増加による資金増14億97百万円があったことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月14日に発表いたしました内容から変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）において、特定子会社の異動はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

③法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定につきましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性につきましては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,624,604	7,597,715
受取手形及び売掛金	3,773,649	3,213,385
有価証券	415,651	402,061
商品及び製品	1,078,366	872,255
原材料及び貯蔵品	169,838	130,425
繰延税金資産	167,365	198,943
その他	3,248,568	3,192,916
貸倒引当金	△79,110	△75,629
流動資産合計	17,398,934	15,532,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,638,603	10,510,595
機械装置及び運搬具(純額)	141,016	145,081
工具、器具及び備品(純額)	1,383,816	1,396,974
土地	11,886,128	11,667,652
リース資産(純額)	166,914	185,679
建設仮勘定	227,718	319,001
有形固定資産合計	24,444,197	24,224,985
無形固定資産		
のれん	474,832	529,030
その他	194,577	166,773
無形固定資産合計	669,410	695,804
投資その他の資産		
投資有価証券	1,599,290	2,236,630
長期貸付金	172,355	278,803
敷金及び保証金	7,304,866	7,037,994
繰延税金資産	653,871	785,388
その他	3,787,956	2,739,212
貸倒引当金	△1,053,351	△1,029,202
投資その他の資産合計	12,464,988	12,048,826
固定資産合計	37,578,597	36,969,615
資産合計	54,977,531	52,501,690

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,377,313	3,342,846
短期借入金	1,508,700	—
1年内返済予定の長期借入金	6,359,532	6,001,972
未払金	2,019,301	2,029,672
未払法人税等	47,145	462,374
未払消費税等	136,251	143,241
賞与引当金	333,396	243,666
その他	2,313,796	2,167,122
流動負債合計	16,095,436	14,390,895
固定負債		
社債	305,000	120,000
長期借入金	13,901,767	13,734,435
退職給付引当金	55,017	28,123
負ののれん	249,331	264,914
長期預り保証金	2,798,023	2,683,620
繰延税金負債	295,675	295,675
その他	586,541	463,550
固定負債合計	18,191,355	17,590,319
負債合計	34,286,792	31,981,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,886	3,930,886
利益剰余金	9,048,739	9,183,150
自己株式	△1,514,916	△1,514,585
株主資本合計	15,501,359	15,636,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△56,686	△118,578
評価・換算差額等合計	△56,686	△118,578
新株予約権	32,912	32,912
少数株主持分	5,213,154	4,970,039
純資産合計	20,690,738	20,520,475
負債純資産合計	54,977,531	52,501,690

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	7,336,147	17,922,951
売上原価	4,573,506	13,590,370
売上総利益	2,762,641	4,332,580
販売費及び一般管理費	2,543,575	4,293,997
営業利益	219,065	38,582
営業外収益		
受取利息	11,270	15,463
受取配当金	5,256	3,472
投資有価証券売却益	—	7,935
受取賃貸料	42,160	44,777
負ののれん償却額	—	47,969
匿名組合投資利益	36,705	—
持分法による投資利益	—	9,440
その他	40,906	88,285
営業外収益合計	136,299	217,344
営業外費用		
支払利息	25,298	86,444
投資有価証券売却損	57,581	—
賃貸費用	14,707	11,139
持分法による投資損失	63,887	—
その他	47,128	27,133
営業外費用合計	208,603	124,717
経常利益	146,761	131,209
特別利益		
固定資産売却益	—	6,071
貸倒引当金戻入額	8,431	11,967
抱合せ株式消滅差益	—	7,430
特別利益合計	8,431	25,469
特別損失		
固定資産除却損	18,700	23,543
投資有価証券評価損	33,400	—
その他	8,619	—
特別損失合計	60,719	23,543
税金等調整前四半期純利益	94,473	133,135
法人税、住民税及び事業税	176,850	41,461
法人税等調整額	△21,394	166,654
法人税等合計	155,455	208,116
少数株主損失(△)	△51,309	△140,416
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,673	65,436

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	94,473	133,135
減価償却費	121,260	542,191
のれん償却額	52,763	21,612
固定資産除却損	18,700	23,543
投資有価証券売却損益(△は益)	39,033	△10,633
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	24,385
投資有価証券評価損益(△は益)	33,400	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	90,984	85,448
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,462	13,991
受取利息及び受取配当金	△16,526	△18,935
支払利息	25,298	86,444
為替差損益(△は益)	△242	—
持分法による投資損益(△は益)	63,887	△9,440
売上債権の増減額(△は増加)	△588,775	△459,134
たな卸資産の増減額(△は増加)	△140,122	△178,586
仕入債務の増減額(△は減少)	696,123	△250,474
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,401	△3,699
その他	171,140	79,517
小計	646,533	79,366
法人税等の支払額	△435,184	△467,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,348	△388,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	39,510	20,402
有形固定資産の取得による支出	△189,724	△795,860
有形固定資産の除却による支出	△4,529	△2,514
有形固定資産の売却による収入	—	184,167
無形固定資産の取得による支出	△270	△21,316
投資有価証券の売却による収入	268,998	70,610
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	3,679,033	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	133,911
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	9,996
貸付けによる支出	△6,000	△26,712
貸付金の回収による収入	9,115	18,584
保険積立金の払戻による収入	18,888	—
保証金の純増減額	—	△141,330
その他	13,400	△92,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,828,423	△642,974

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△21,216	△79,503
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,000,000	1,497,750
長期借入れによる収入	—	1,560,000
長期借入金の返済による支出	△271,999	△1,179,128
社債の発行による収入	—	250,000
社債の償還による支出	—	△30,000
自己株式の取得による支出	△46,402	—
少数株主からの払込みによる収入	—	151,800
配当金の支払額	△187,562	△183,144
リース債務の返済による支出	—	△14,301
その他	—	△8,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,527,180	1,965,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	242	△86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	512,834	933,762
現金及び現金同等物の期首残高	8,243,376	7,497,715
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	92,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,756,211	8,523,598

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当連結グループは、事業の種類として「持ち帰り弁当事業」及び「その他の事業」に区分しており、当第1四半期連結累計期間については、全セグメント売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める「持ち帰り弁当事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	持ち帰り 弁当事業 (千円)	店舗運営事業 (千円)	店舗不動産 事業 (千円)	店舗コンサルテ ィング事業 (千円)	プライベート・ エクイティ事業 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,161,412	7,237,988	106,427	1,740,572	24,285
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	146,647	1,065,611	44,250	1,145	—
計	8,308,060	8,303,599	150,678	1,741,717	24,285
営業利益又は営業損失(△)	163,834	23,976	64,333	53,426	5,057

	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	652,264	17,922,951	—	17,922,951
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	818,029	2,075,685	(△2,075,685)	—
計	1,470,294	19,998,636	(△2,075,685)	17,922,951
営業利益又は営業損失(△)	△6,729	303,897	(△265,315)	38,582

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主なサービス

- (1) 持ち帰り弁当事業……………弁当・惣菜の製造販売及び製造販売指導並びに食材などの提供
- (2) 店舗運営事業……………業務委託型飲食店舗の運営、サブレント等
- (3) 店舗不動産事業……………店舗の出店に適した不動産の取得・売却、不動産の管理等
- (4) 店舗コンサルティング事業……………業態開発・発掘、店舗運営本部、店舗再生コンサルティング等
- (5) プライベート・エクイティ事業……………プライベート・エクイティ・ファンドの運用管理、飲食ビジネスのインキュベーション等
- (6) その他の事業……………店舗総合サービス事業、物流事業、フレッシュ・ベーカーリー事業等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

在外支店及び在外子会社はありませんので、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

在外支店及び在外子会社はありませんので、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高はありませんので、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高はありませんので、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。